

# 令和4年度 第2回 若葉区区民対話会

## 議事概要

- 1 開会
- 2 区長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 意見交換

はじめに、参加者の自己紹介と併せて、最近の関心事等を発表。

その後、話した関心事等をもとに自由に意見交換を実施した。

以下のとおり区長から自身の考えについて説明があった。（四角内は区長発言）

### ① 地域内の移動（交通手段）について

- ・ 今、高齢化している地域でもバスの運行がなくなっているように思う。

免許を返納したらバス代が安くなることもあるが、そもそもバスの運行がない。

- ・ 区内でグリーンスローモビリティの導入を検討している地域もある。  
ゴルフカートのような小型の自動車を、地域の方が地域内でルート等を考えて運営する。
- ・ また、地域がスーパーマーケット等の企業と連携してバスを走らせたという事例もある。
- ・ 地域内で一緒に考えて現状をよく分析し、地域の総意として声を上げていく形があるといい。

- ・ 親族が住む地域で、オンデマンドタクシーができると聞いた。登録して、利用してみたいと思う。  
どのようなシステムなのか勉強してみたい。

- ・ 区内のある地区で、地域住民が買い物難民の支援を検討したことがある。  
しかし、道路交通法の関係で課題があり中止してしまった。ぜひ勉強してほしい。

## ② 高齢者の見守り

- ・ 休耕地になっている畑を整備。災害時の炊き出しや避難場所にしたい。窯も作ろうとしている。
- ・ 高齢者の畑を無料で借りているため、見守り活動にもつなげたい。

・ 若葉区でも「模擬避難所」という取組をしている。  
今年度は、宿泊まではいかなくとも、炊き出し含めて半日くらいでやってみたい。  
一緒に何かできるとよい。

## ③ 子どものまちづくり活動について

- ・ 区民まつりを開催するのであれば、小規模でも子ども向けの企画をやりたい。
- ・ こどものまち CBT は、今は年に 1 回のイベント。

知り合いが手放す畑と CBT をつなげたらどうか、と考えている。

まちなか菜園として、こどものまちを常時動かすような形ができないか検討している。

・ 今の時代はいろいろな団体と連携して、一緒に課題に取り組まなければいけない。  
・ 区民まつりについては、まだ実行委員会で検討中だが、開催する場合はぜひ出展も検討してほしい。

## ④ クールシェア

- ・ 子どもたちを集めて活動していると、お母さんたちから「クールシェアしているね」という話が出る。  
高齢者でも同じようなことはできないか。

・ 自治会館など、近所にあるところでクールシェアできるといい。非常にいいアイデア。

## ⑤ 通学路の安全対策

- ・ 通学路の安全対策をしてほしい。若葉土木事務所が「通学路」の路面標示をしてくれているが、もっといろいろな人が考えて取り組みたい。通行禁止の時間帯でも、車が通っている通もある。
- ・ 最近できた緑色の通学路表示はとてもわかりやすい。
- ・ 障害のある子どもがいて通学が心配という保護者がいる。できるだけ一人で行かせたいが、学校を出てすぐに緑のラインが消える。一方で、広範囲にラインが引いてある地域もある。
- ・ 学校が要望を出して線を引いているが、「線を引いてほしい」と学校に相談していいのかも迷う。

・ セーフティウォッチャーのように人が立っている地域もある。警察や行政ですべて見るのは限界がある。  
・ 行政として対応するためにも、「地域の総意としての要望」という形で出してもらいたい。

## ⑥ 自治会について

- ・自治会の力がなくなってきている。今は地域で総意を出す意味が分かったが、ずっと「何のために入っているんだろう」と疑問だった。「自治会は任意なので入らなくていい」と区役所で言われた、という話も聞いた。
- ・年齢でばらつきがある。仕事や子育てで忙しいし、自治会費も銀行振り込みで済む。
- ・つながりを求めている世帯が多い。
- ・子育てサロンをやっているが、「復職」の話が多い。1歳になると復職する。  
一方で、復職せず地域に残る保護者もいるので、そこから繋がっていくことが必要。

- ・たしかに自治会に加入するメリットを答えられない職員は多いかもしれない。  
地域の総意をまとめるという意味もあるし、非常時に顔見知りが多いと全然動きが違う。
- ・自治会も、集金方法や回覧方法など、変化しようとしている。一方で、地域のお祭りなどは残してもいいのではないか。こういった体験は子どもにとって重要。また、子どもが集まると親も集まる。

## ⑦ 地域のお祭り

- ・夏まつりを盛り上げているのが高齢者。コロナで数年ブランクが開くと開催が難しい。  
若い世代への引継などもしていない。
- ・逆に今がチャンス。今までのやり方にとらわれず新しいことができる。  
良いところを残しながら変える。ステージ発表や景品は好評だった。
- ・千城台 CC の七夕祭りは地域外からも人がきていた。  
一方、地元でマルシェを開いても住民が地域外に出て行ってしまうということもある。広報の仕方が大事。
- ・区役所前の広場で何か開催してもおもしろい。
- ・一か所ではなく多箇所ですべて同時にできるといい。
- ・餅つきは大変。役員はやらない方向にばかり考えてしまう。域外からも親戚が来るなど、人口が増える。

- ・区役所前広場を活用して欲しい。
- ・区民まつりの開催は未定だが、できればやりたい。中途半端にやっても面白くない。
- ・餅つきは日本の伝統。どうやって伝えていくかを考えないといけない。

⑧ キッチンカーの活用

- ・キッチンカーを購入し、市役所で販売した。区役所や公民館でも展開したい。営利目的でも大丈夫なのか。
- ・防災キッチンカーとしてデモ出店したこともある。家庭にある野菜などを持ち込んで調理して配布する。

・区役所広場の使用は、内容次第でできるのではないかと。担当課に相談してほしい。

⑨ ボランティアをしたい 30～40 代の掘り起こしをしてほしい。

・社協や市民活動支援センターなどがやっているかもしれない。確認してみる。

⑩ ぷらっと WAKABA（区長より）

- ・今回の対話会のように「誰に言ったらいいかわからない」「こんな悩みがあるがどうしたらいいか」という意見が多くある。若葉区でプラットフォーム事業（地域で活動する団体の情報を集め、団体の助けを必要としている方、団体に参加したい方をつなげる事業）をスタートしたため、ぜひ活用してほしい。地域団体だけでなく民間企業等ともつないでいき、課題を解決していきたい。

5 閉会